

Ajifry × Hometown Lover

松浦アジフライが広げる 友だちの“輪”。



FUSE 代表
川浪勇太さん

松浦アジフライが、イベントではなく、県境を超えた生活圏の中に浸透…そう言ってもよいのではないだろうか。「2021年夏からスタートしたMATSUURA MARKET」が、SNSのみの告知も実験ですが、半年経ってようやく認知されりピーターが増えました。今ではこの商店街の人が「がんばれ、がんばれ」と盛り上げてくれます」と、川浪さん。シャッター街と化したまちに少しずつ灯りが点り始めた。

川浪勇太さん、松浦市在住。本業は動画カメラマン。だが、川浪さんと出会った2015年当時の彼は、地元のビーチクリーン活動や特産・椿の生産支援、野外イベント・島フェスプランナーなど、実に多彩な表情を持っていた。常に口ぐせは「松浦を盛り上げたい!」「みんなで力合わせたい」、この2つ。ところが実際は川浪さん自身、ありあまる情熱とあふれる故郷愛をどう扱っていたのか五里霧中だったという。本人が過去をそうふりかえっている。

2021年、そんな川浪さんが、隣町・伊万里市の商店街にフォートスタジオ「FUSE」をオープンさせた。「仕事は企業PRがメインですが、もともとへ地方にクリ

松浦アジフライ、“県境”を越える① お隣り、佐賀・伊万里からラブコール!



エイティブを確立する〜が私のテーマでした。田舎にクリエイターがいらないから仕事も都会へと出てしまう。もし地元クリエイションが生まれる場所があったら、ローカルはローカルのままで自然に循環ができていくはずですし。

川浪さんはその実地試験としてある試みを考えついた。松浦市の特産加工品の小さなマーケットイベント「MATSUURA MARKET」を自身のスタジオで始めたのだ。古い商店街の一角、スタジオ横の通路も含めた手作り感満載の軒下市だ。6〜7の出店が連なり、ほぼ3分の2が川浪さんの想いに共鳴した松浦市からの有志。



アジフライ大好きっ子と一緒に! 出店者には漁師もいる、菓子職人も、居酒屋店主もいる。アカモク、しらす、ちりめん、スイーツ、そして松浦アジフライが並び。

「隣なのに伊万里の人は松浦市のことを知らないのです。でもアジフライサンド、アジフライカレーも登場し、松浦の美味しさを知る人が増えて来て。伊万里も喜ぶ。松浦も喜ぶ。私は今でも松浦に住み、伊万里(佐賀)で松浦(長崎)を発信する。こんな風に地方には地方のやり方があると気づけたのはコロナ禍でした。どんな時も必ず答えがある」。

7年かかった。夢を、夢で終わらせなかつた川浪さん。その輪はますます広がっている。

MATSUURA MARKET

伊万里市伊万里町甲254(商店街通り側)
日時:毎月第3土曜 10:00~15:00

FUSE

佐賀県伊万里市伊万里町甲254
☎0955・38・9013